

しもつけし
ぎかい
だより

令和6年8月15日発行

令和6年第2回定例会 6月議会

—— 今号のポイントは？ ——

- 新正副議長インタビュー …… P 2
- 常任委員会等の構成 …… P 4
- 令和6年度各会計補正予算 …… P 6
- 12名の議員が市政を問う 一般質問… P 9～
- 読めば答えが見えてくる!?
ぎかいだよりクイズ … P 16



市内小・義務教育学校3年生の議場見学の様子



しもつけ市議会だよりは議会ホームページでもご覧いただけます
ホームページ <http://www.city.shimotsuke.lg.jp>

下野市 市議会 検索



NO.73

令和6年第2回 定例会

5月30日(木)～6月14日(金)

令和6年第2回定例会は、5月30日から6月14日までの16日間の会期で開催されました。

定例会初日には、議長、副議長をはじめ、各常任委員会の改選が行われ、新たな体制でのスタートとなりました。

市長提案（追加議案含む）により、報告5件、人事案17件、令和6年度補正予算案3件、条例の制定・一部改正等6件、その他議案1件の計32件が提出されました。

また、陳情1件の審査が行われたほか、一般質問では12名の議員が市の対応や考え方を問いました。

議長・副議長、各常任委員会委員を改選

わたしたちが 新しい議長・副議長です

第2回定例会初日の選挙において、大島昌弘議員が議長に、貝木幸男議員が副議長に就任しました。これからの下野市議会について、議会だより編集委員がお二人の抱負を伺いました。

Q. これからの議会運営についてお聞きます。

大島 昌弘 議長

議員全員が同じ認識のもとで、議会の活性化を図るとともに市民に身近に感じてもらえる市議会を目指し、さまざまな活動を進めていきたい。

また、本市がさらに発展するよう、条例の制定や政策の提言を議会として積極的に取り組んでいきたいと考えています。

貝木 幸男 副議長

議員として2期目半ば、6年の経験を十二分に生かし、副議長として大島議長を100%サポートできるように努めていきます。



議長室にてインタビューの様子



FMゆうがお出演の様子

Q. 自治会加入の減少に対し、市議会としてやっていきたいことは。

大島 昌弘 議長

住みやすい街づくりに自治会は欠かせない存在であると考えます。

こどもの見守り、災害時の避難体制、一人暮らしの高齢者の支援等、日頃からの連携により地域全体を見守っていくという自治会の役割や、加入のメリット等を市民の皆さまにみえる形で伝え、地域のつながりをつくっていききたいです。

貝木 幸男 副議長

古くから住んでいる方々は、隣近所をよく知っていて、加入率も悪くないが、新たに転居された方々の加入率が上がらないのが課題と捉えています。自治会行事への参加は、地域住民との交流を広げる場の一つであり、防災や地域の発展のためにも自治会の必要性を理解していただけるよう働きかけしていききたいと思っています。

インタビューにあたり

新議長・新副議長の「新しいことにどんどん挑戦していく」との意気込みが感じられるインタビューでした。

（聞き手：松山裕、鈴木一司）

ありがとうございました。
2年間よろしくお願いします。

一部事務組合議員を選出

小山広域保健衛生組合、石橋地区消防組合の議会議員が、下記のとおり市議会から選出されました。

小山広域保健衛生組合

伊藤陽一・小谷野晴夫・秋山幸男（3名）

小山市、下野市、野木町、上三川町の2市2町で組織され、各市町議会から計14名が組合議員に選出されます。し尿処理・ごみ処理に関する施設、斎場及び火葬場の建設や管理運営に関する事務、休日急患診療施設の運営等を共同で行っています。



小山広域リサイクルセンター

石橋地区消防組合

西本由利子・松山裕・石田陽一
大島昌弘・貝木幸男（5名）

下野市、上三川町、壬生町の1市2町で組織され、消防団長及び各市町議会から計12名が組合議員に選出されます。消防に関する事務（消防団を除く）、液化石油ガス設備工事届の受理に関する事務を共同で行っています。



石橋消防本部

人事

■監査委員の選任

議員選出の委員として
石田陽一議員を選任することに同意しました。



石田陽一 議員

こんにちは！ 下野市議会です

87.9
MHz

F Mゆうがお(87.9MHz)の、行政情報番組
「しもつけピタッとラジオ(12:00～12:55)」
内で発信中！毎月最終月曜日です。

議会年間スケジュール

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
アカデミー 研修等	第2回 定例会		議長会 研修等		第3回 定例会	行政視察・ 懇談会等		第4回 定例会	議長会 研修等	第1回 定例会	

市議会議員は、議会としての活動以外に、随時研修会等の参加や地域行事に出席するなど幅広く活動しています。議会としての活動については、P.5議会の動きをご覧ください。

次回

第3回
定例会
(9月議会)
の予定

日	月	火	水	木	金	土
9月1日	2	3	4	5	6	7
	本会議					
	開 会		代表質問	一般質問	一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議					
	常任委員会					
15	16	17	18	19	20	21
	常任委員会					
	敬老の日					
22	23	24	25	26	27	28
秋分の日	休日			本会議 閉 会		

常任委員会等の構成

本会議に提案された議案などを、少人数の議員で専門的・能率的に審査するための機関として「常任委員会」を設置しています。下野市議会では、総務・経済建設・教育福祉の3つの委員会が設置されており、議員はいずれか一つの常任委員会に所属します。

そのほか、議会の円滑な運営のため、議会運営について協議し意見調整を図る場として「議会運営委員会」、議会だよりの編集・発行を行う「議会だより編集委員会」が設置されています。

また、議決により特別委員会を設置することができます。

総務常任委員会

委員長 小谷野晴夫 副委員長 金子 康法
委員 坂倉 司 委員 山下みゆき
委員 貝木 幸男 委員 石田 陽一

【担当する内容】

総合計画、国際交流、地域コミュニティ、自治会、財政、市税、契約、防災、交通安全、ごみ、環境、国民健康保険、戸籍・住民票などに関する議案を審査します。



経済建設常任委員会

委員長 伊藤 陽一 副委員長 松山 裕
委員 加藤 好雄 委員 五戸 豊弘
委員 石川 信夫 委員 大島 昌弘

【担当する内容】

農業、商業、観光、工業、産業団地、道路、河川、都市計画、まちづくり、公園、区画整理、水道、下水道などに関する議案を審査します。



教育福祉常任委員会

委員長 相澤 康男 副委員長 西本由利子
委員 鈴木 一司 委員 石川 浩
委員 秋山 幸男 委員 村尾 光子

【担当する内容】

保育園、幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高齢者、子育て、健康づくり、障がい福祉、生涯学習、公民館、図書館、文化財、スポーツなどに関する議案を審査します。



現在設置されている特別委員会

議会活性化特別委員会

委員長 相澤 康男
副委員長 村尾 光子

【設置目的】 下野市議会運営の効率化や活性化に向けた調査・研究
【委員会の委員】 議長を除く全議員
【調査期間】 令和4年6月24日から調査終了を議決する日まで

その他委員会の構成

議会運営委員会

委員長 秋山 幸男 副委員長 小谷野晴夫
委員 伊藤 陽一 委員 相澤 康男
委員 石田 陽一 委員 村尾 光子

議会定例会や臨時会の運営（会期や議事日程の調整、一般質問や議案の取り扱いなど）について調査・協議を行います。

また、市議会の会議規則や委員会条例の改正など議会運営に関する議案についての審査を行います。

委員会にはオブザーバーとして議長、副議長も出席します。



議会だより編集委員会



委員長 伊藤 陽一 副委員長 鈴木 一司
委員 坂倉 司 委員 西本由利子
委員 松山 裕 委員 金子 康法

議会の活動や意見等を市民の皆さんにお知らせする「議会だより」の原稿作成や編集作業を行います。

議会だよりは、定例会に合わせて年4回（2月・5月・8月・11月の各月15日）発行します。



議 会 の 動 き

5月

13日 教育福祉委員会
14日 総務常任委員会・経済建設常任委員会
22日 第100回全国市議会議長会定例会
23日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
27日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」（出演者：石田前議長、相澤前副議長）
30日～6月14日 第2回定例会

6月

5日 教育福祉常任委員会
6日 経済建設常任委員会
7日 総務常任委員会
12日 議会運営委員会・議員全員協議会・議会活性化特別委員会
14日 議会だより編集委員会
20日 石橋消防組合議会 臨時会

21日 経済建設常任委員会
24日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」（出演者：大島議長、貝木副議長）
26日 総務常任委員会

7月

1日 教育福祉常任委員会
3日 議会だより編集委員会
8日 普通救命講習会・議会運営委員会
11日 栃木県市議会議長会事務局長会議
16日・19日 議会だより編集委員会
22日 FMゆうがお「こんにちは！下野市議会です」（出演者：秋山議運委員長、小谷野 議運副委員長）
23日 県南6市議会議長会 研修会
26日 第315回栃木県市議会議長会 議長会議

令和6年度一般会計・国民健康保険特別会計補正予算を議決

今回の補正により、
令和6年度一般会計予算総額は、280億9,022万7千円となりました。

【歳入の主なもの】（一般会計予算）

●総務費国庫補助金 2億3,521万7,000円の追加
重点支援地方交付金（給付金・定額減税一体支援
枠分）の計上。

●土木費国庫補助金 4,040万2,000円の追加
社会資本整備総合交付金の増額。

【歳出の主なもの】（一般会計予算）

●社会福祉総務費 4億1,004万4,000円の追加
新たな住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付
金支給事業にかかる経費を計上。

●道路橋梁新設改良費 9,300万円の追加
市道 1-3 号線、市道 2-1 号線、市道 8370 号線
整備事業にかかる経費を計上。

【歳出の主なもの】（国民健康保険特別会計予算）

●一般管理費 319万円の追加
電算システム改修にかかる委託料の計上。

■令和6年度各会計補正予算

会 計 名		補 正 額	補正後の予算額
一般会計	第 1 号	5億3,651万9千円	280億8,651万9千円
	第 2 号	370万8千円	280億9,022万7千円
特別会計	国民健康保険（第 1 号）	319万 円	46億 768万3千円

条例その他 議決した主な議案についてお知らせします。

下野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

近年の災害の激甚化、頻発化を背景とする大規模災害発生時における職員の派遣について、災害応急作業において特殊勤務手当の対象とするとともに、肉体的・精神的苦勞を伴うことを考慮し、特殊勤務手当額が改正されました。



陳情第2号 現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書

陳情の趣旨

健康保険証廃止を見直し、当面の間は、現行の健康保険証とマイナ保険証との両立を求めるよう、国に対し意見書の提出を求めるものです。

総務常任委員会での意見

未だにシステムエラーやトラブルが発生している状況ではあるが、5年間はマイナ保険証だけでなく資格確認書の発行がある。国でも様子を見ながらという動きであるなど、陳情に対する反対の意見が出されました。

委員会表決の結果

「不採択」

本会議表決の結果

委員会表決結果に賛成多数により
「不採択」に決定



常任委員会 審査報告

定例会で委員会付託された議案などについて、各常任委員会での審査内容をお知らせします。

総務常任委員会

◎小谷野 晴夫 ◎金子 康法
石田 陽一 貝木 幸男 山下 みゆき 坂倉 司

議案第52号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)

自治振興事業

Q 公民館建設が予定されている通古山自治会と薬師寺一丁目自治会の補助額を比較すると約2倍の差があるが、その理由を伺う。

A 公民館の床面積が通古山自治会は132平米、薬師寺一丁目自治会は68平米であり、倍近く異なる。
また、通古山自治会区域内住民は3,500人程度、薬師寺一丁目自治会区域内住民は700人程度であり、規模の異なる設備となっていることから建設費に差があるため。

議案第53号 令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

一般管理費

Q 電算システム改修の内容を伺う。

A マイナンバーカードと健康保険証の一体化に関するシステム改修となり、オンライン確認システムと業者に委託しているシステムの内容の突き合わせ、被保険者の加入状況の確認、マイナ保険証の未登録者への資格確認書を送付するためのシステム改修である。

経済建設常任委員会

◎伊藤 陽一 ◎松山 裕
大島 昌弘 石川 信夫 五戸 豊弘 加藤 好雄

議案第52号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)

商工振興事業

Q 償還金の内容を伺う。

A 令和2年度下野市新型コロナウイルス感染症経営安定化資金において、事業所が融資を受ける際の信用保証料を、国の地方創生臨時交付金を活用し全額補助した。その後、30社からの繰り上げ返済により、不用額となった保証料を本年6月末までに国へ返還する義務が生じた。

道路橋梁新設改良費

Q 市道3か所の補正内容を伺う。

A 市道1-3号線については90メートル、市道2-1号線については250メートル延伸する道路改良工事。しもつけ産業団地南側の市道8370号線は、雨水排水を行うための管渠(かんきょ)布設工事である。

Q それぞれの事業期間を伺う。

A 市道1-3号線は令和9年度末、市道2-1号線は令和6年度末、市道8370号線は令和7年度末完了を目指している。



市道1-3号線



市道2-1号線



市道8370号線

議案第52号 令和6年度一般会計補正予算(第1号)

新たな住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業

Q 本事業の『新たな』の意味を伺う。

A 令和5年度、すでに住民税均等割課税世帯に対し7万円、住民税均等割のみ課税世帯に対し10万円が支給されている。これらの対象者とは別に、新たに低所得者世帯として令和6年度の住民税均等割の非課税者のみで構成される世帯と、均等割のみ課税の世帯を対象として給付するものである。

Q 対象となる世帯数を伺う。

A 700世帯を見込んでいる。これら対象者は税務課の税情報を基に算出している。

Q 外国の方も対象になるのか。

A 住民登録がされていれば対象になる。



『新たな住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給事業』について詳しい内容は、市ホームページをご覧ください。

第2回定例会の審議結果

議案などに対する各議員の賛否の状況です。

議員の賛否が分かれたもの

議案等番号	付議事件	結果	坂倉 山下みゆき	西本 由利子	鈴木 一司	石川 浩	松山 裕	加藤 好雄	金子 康法	伊藤 陽一	五戸 豊弘	貝木 幸男	石川 信夫	相澤 康男	大島 昌弘	石田 陽一	小谷 野晴夫	秋山 幸男	村尾 光子
議案49号	専決処分の承認(下野市税条例の一部を改正する条例の制定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議案52号	令和6年度一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
陳情2号 [不採択]	現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める陳情書	不採択	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	●

○…賛成 ●…反対 (議長は表決に加わらない)

全会一致で可決されたもの

議案等番号	付議事件	議案等番号	付議事件
議案33~48号	下野市農業委員会の委員の任命について	議案55号	下野市営住宅管理条例の一部改正について
議案50号	専決処分の承認(下野市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定)	[追]議案56号	下野市監査委員の選任について
議案51号	専決処分の承認(下野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定)	[追]議案57号	令和6年度下野市一般会計補正予算(第2号)
議案53号	令和6年度下野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	[追]議案58号	下野市学校施設整備基金条例の制定について
議案54号	下野市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	[追]議案59号	財産の処分について

[追]・・・追加議案

議会に報告があったもの(表決はありません)

議案等番号	付議事件	内 容
報告1号	令和5年度下野市一般会計継続費繰越計算書の報告	石橋駅自転車駐輪場リノベーション事業7,041万3千円を令和6年度に繰り越し。
報告2号	令和5年度下野市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	住民税非課税世帯に対する臨時特別給付金支給事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業、スマートIC整備事業など43事業、7億6,513万9千円を令和6年度に繰り越し。
報告3号	令和5年度小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	石橋駅周辺土地区画整理事業における2件の移転補償及び賠償金、4,470万円を令和6年度に繰り越し。
報告4号	令和5年度小山栃木都市計画事業仁良川地区土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	仁良川地区土地区画整理事業における道路工事費、7件の移転補償及び賠償金、合わせて1億6,387万1,000円を令和6年度に繰り越し。
報告5号	令和5年度下野市下水道事業会計予算繰越計算書の報告	管渠築造工事等において他の工事との調整に時間を要したことから、1億3万8,000円を令和6年度に繰り越し。

市政を問う 一般質問

一般質問はインターネットで動画を公開しています。
各議員の記事右上の2次元コードによりご覧ください。

第2回定例会では、12名の議員が市政に対し質問しました。質問と答弁の内容を要約して掲載します。

今回の質問者は

【個人質問】

1. 伊藤 陽一 議員……………P 9
2. 鈴木 一司 議員……………P 10
3. 加藤 好雄 議員……………P 10
4. 貝木 幸男 議員……………P 11
5. 秋山 幸男 議員……………P 11
6. 石川 浩 議員……………P 12
7. 石川 信夫 議員……………P 12
8. 五戸 豊弘 議員……………P 13
9. 小谷野晴夫 議員……………P 13
10. 西本由利子 議員……………P 14
11. 金子 康法 議員……………P 14
12. 村尾 光子 議員……………P 15

個人質問



いとうよういち
伊藤陽一 議員が問う

花まつり

新たなイベント導入について今後の方針を伺う

市長 導入の可能性について積極的に検討を進める

Q 新たなイベントの今後の方針を伺う。

A 市長 今回は、新しい試みの栃木プロレスのイベントを目的として訪れてくださった方々も多かった。桜の花を見に来られる方々にプラスアルファの楽しさを提供することは、誘客を促進する重要な要素である。今後は今年の実施結果を精査し、多くの方が行ってみたい、と思えるイベントになるよう、来場者の増加に向けた新たなイベントの導入の可能性について積極的に検討を進める。

Q 新しい花まつりの形を模索していくとは、具体的には何を想定するのか。

A 産業振興部長 お客様の目的は、桜の鑑賞の他に飲食も一つの要素と捉えている。出店方法にこだわることなく、今後はキッチンカー販売も想定し出店協力会の意向も踏まえ実行委員会で検討する。

運転免許証自主返納者支援事業について

Q 運転免許証自主返納者支援事業の65歳以上の支給対象年齢を下げる、または廃止できるかを伺う。

A 市長 支給対象年齢の引き下げについては、実現に向け速やかに対応を検討する。



天平の丘公園の淡墨桜



個人質問



すず き かず し
鈴木一司 議員が問う

交通整備

3 駅を拠点とした市内循環バス導入について

市長 将来的なビジョンにおいて、地域公共交通会議での議論が必要

Q 本市の公共交通は、路線バス、広域連携バス、コミュニティバス、デマンド交通「おでかけ号」があるが、公共交通カバー圏域はほんの一部で、交通空白地全域をおでかけ号のみでカバーしているのが現状。高齢者や子育て世代、通勤、通学のための3駅を拠点とした市内循環バスの導入について執行部の見解を伺う。

A 市長 循環バスの導入については、下野市における公共交通の将来的なビジョンを検討するうえで、過去に循環バスを廃止した経緯や、今日の運転手の確保の困難性も十分に考慮したうえで、地域公共交通会議において慎重に議論する必要があると考えている。

Q 路線バス自治医大線を、自治医大駅東口から小金井駅東口へ延伸要望する考えがあるか伺う。

A 市長 持続可能なまちづくりを進めるためには、誰もが利用しやすい公共交通ネットワークの構築が不可欠であると考えている。将来の公共交通ネットワークの在り方については、地域公共交通会議の中で慎重に検討する。



個人質問



か とう よし お
加藤好雄 議員が問う

断熱改修

学校施設整備には断熱予防改修が必要！

教育長 ZEB化に向けた施設の断熱改修は長寿命化計画でも必要不可欠

Q ゼロカーボンシティの今後の対応を伺う。

A 市長 ロードマップを作成し再エネの最大活用と省エネ徹底で、多様な分野や事業者と連携した総合的施策を全庁的に展開する。

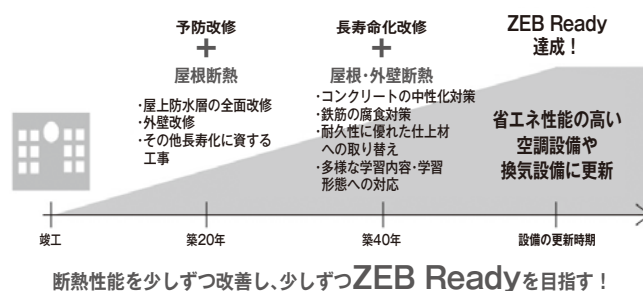
Q 近年の気候変動に対応した学校施設の環境整備が火急の課題だ。現状と対応について伺う。

A 教育長 猛暑日が連日続く状況になっていることから、児童・生徒の健康維持や授業に集中できる環境整備が強く求められている。小・中学校、義務教育学校のアコン設置率は、普通教室100%、特別教室60.1%、体育館0%である。

A 教育次長 未設置である38の特別教室は来年度からの設置工事に向け、今年度に設計事務を計上した。

Q 文科省は、ZEB化に備えて屋上屋根断熱や外壁、窓改修を先行実施する予防改修を強く推奨している。児童・生徒の健康に責任を負うべき市の行政責務として、計画・実施の考えはあるか。

A 教育長 施設の大規模改修と長寿命化改修を行う際の重要な実地課題として、断熱改修の在り方と取組みを研究したい。



(注) ZEB化とは

Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物のこと。



個人質問

かい き ゆき お
貝木幸男議員が問う

しもつけ

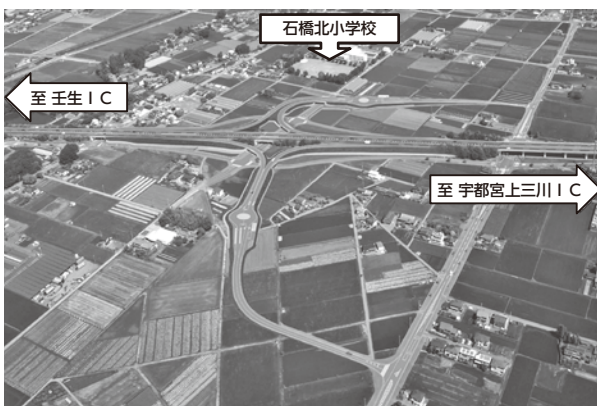
スマートインターチェンジ の名称について

市長 今後、関係機関と十分に協議を
重ねていく

Q 下野市は合併してもうすぐ20年を迎えるが、いまだに「しもの市」や「したの市」など、読み間違われることが多々ある。市内に開通予定の（仮称）下野スマートインターチェンジの名称を平仮名表記にすることはできないか。

A 市長 名称の原案は地区協議会や県が組織する標識適正化委員会において検討される。その後、ネクスコ東日本と独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に正式に名称案として伝達され、これを受けネクスコ東日本に意見聴取を行ったうえで正式名称として決定される。インターチェンジの名称は漢字表記されることが一般的であるが、スマートインターチェンジ周辺に設置される標識にはローマ字でも表記されるので、読み方についても十分周知できるものと期待している。

今後は各種イベントなどで下野市を大いにアピールし、県外の方々にも「しもつけ」の名を認知していただく。



(仮称)下野スマートインターチェンジ完成イメージ図



個人質問

あき やま ゆき お
秋山幸男議員が問う

投票UP

投票率向上のための 新たな施策は

市長 期日前投票所まで送迎する移動支援
タクシーの対象者を拡大

Q 投票率向上のため取り組んできた政策の評価と改善点について伺う。

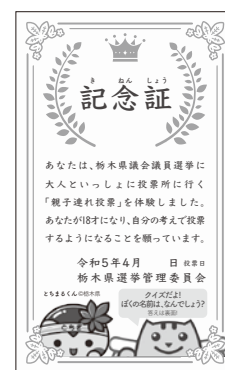
A 市長 18、19歳を対象に投票啓発ハガキの送付や親子連れ投票記念証の交付をしている。新たに保育園への選挙啓発塗り絵の配布や、学生を対象に移動支援タクシーの通知を送付し選挙に参加できるよう支援する。

Q 平成22年に投票所が28か所から22か所に、期日前投票所が市役所に集約され、投票率低下防止策として市有バス2台、民間バス2台を2日間運用し利用者は9名。タクシーによる無料送迎サービスについても登録者10名、実利用者5名のみ。周知徹底の工夫が必要ではないか。また財源の予算措置、見込み額を伺う。

A 行政委員会事務局長 登録方法も見直ししながら周知を徹底していきたい。予算について、前回は執行額が1万2,000円。今年度は20万円を予算として計上している。

Q 生活様式が変化し、投票に行きたいがいけない人が投票できる仕組み、移動期日前投票所の導入について伺う。

A 市長 設置には課題が多い状況であるが、先進事例を調査しながら実現の可能性を研究していく。



親子連れ投票記念証



個人質問



いし かわ ひろし
石川 浩 議員が問う

地域通貨

デジタル地域通貨への取組について

市長 他自治体における取組も参考としながら調査研究を進める

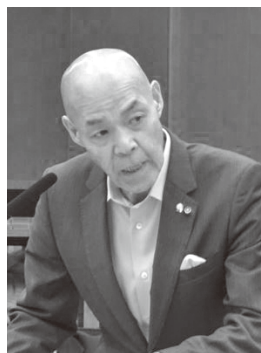
Q 自治体におけるデジタル地域通貨の導入が進んでいる。特定の地域内に流通し、参加店等で使える地域通貨が、デジタル化されたキャッシュレス決済。下野市でもプレミアム付き共通商品券としての歴史があるがデジタル地域通貨への取組の可能性を伺う。

A 市長 本市のDX推進に向けた取組の一環として、デジタル田園都市国家構想交付金等の補助金の活用も視野に、調査研究を進めていく。

特別支援学校卒業後の就労困難な生活介護者への対応について

Q 昨年12月の定例会で一般質問し、「まずは市内の状況を調査し、補助制度の拡充及び障がい福祉サービス事業所職員の更なる処遇改善について、国や県に提言することも含め検討する」との回答だった。市の対応状況を伺う。

A 市長 市内状況調査は実施中。この調査結果を基に福祉人材の資質向上と人材の定着が図れるよう有意義な研修を計画的に取り組んでいく。また、現在、複数の法人から市内において生活介護施設の新規建設に向けた相談がある。



個人質問



いし かわ のぶ お
石川信夫 議員が問う

00融資

倒産は雇用主も従業員も、その家族も苦しむ

産業振興部長 返済不能に陥ることがないように、関係機関に働きかけていく

Q 2022年度から企業倒産が増えている。新型コロナウイルス対策として資金繰りを支えたゼロゼロ融資の返済が2023年7月から本格的に始まり、倒産が増えているようである。市内事業者の倒産の推移、また各課窓口での相談があるかを伺う。

A 市長 2022年度と21年度の2年間で211社に約14億円の融資を行った。2023年度末現在、34社が完済、175社が返済中、2社が返済不能となっている。融資は直接市内金融機関が行っているため、市では詳細は確認できていない。また、窓口における相談もない。

Q 返済が滞っている2社の情報は把握しているか。

A 産業振興部長 売上げや受注の減少が要因となり、経営不振に陥っている。

Q 今年度も倒産が増えていくと予想されているが、市としての考えはあるか。

A 産業振興部長 様々な要因で事業の継続が難しくなる方も現れてくると想定される。有益な情報発信と返済不能に陥ることがないように、金融機関、保証協会と連絡をとっていく。





個人質問



ご のへ とよ ひろ
五戸豊弘 議員が問う

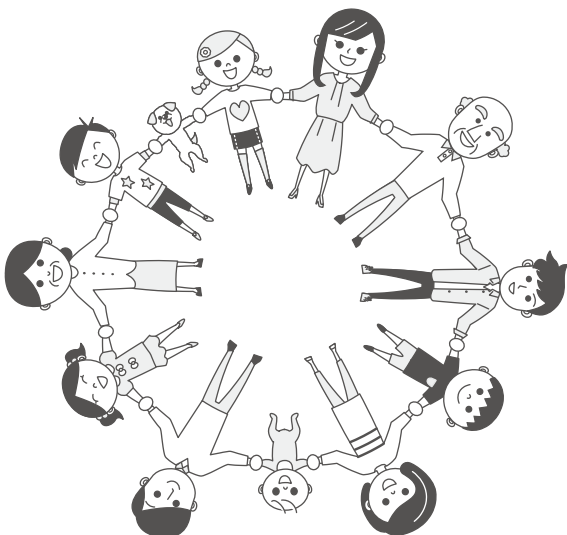
均等割り

国民健康保険税 均等割額免除について

市長 現時点では免除は難しいが、税率の見直し等に取り組んでいく

Q 国民健康保険に加入する農家や自営業の方、フリーランス等で子育て世帯の家庭は、子どもの数が多いほど国民健康保険税が高くなる。子育て支援に逆行しているとの批判があり、見直しを求める声もある。下野市でも均等割額を免除する考えがあるのか伺う。

A 市長 仮に、市が独自に未就学児の均等割額を全額免除とした場合には、約300万円の減収となる。さらに7歳から18歳未満までの被保険者に係る均等割額を免除した場合には、約3,000万円が減収となる。新たに本市独自に、子どもの保険税均等割額の全額免除を行うことについては、現時点では難しいと考えている。一方で、医療費の適正化対策を推進するとともに、保険税の収納対策、加入者の負担を考慮した税率の見直し等に取り組んでいく。



個人質問



こ や の はる お
小谷野晴夫 議員が問う

現物給付

重度心身障がい者の 医療費助成の見直しを！

市長 財政負担を見極めながら現物給付方式の導入に向けて検討する

Q 下野市では、重度心身障がい者医療費助成は、償還払いにより助成を行っている。重度障がいのある方が受診のたびに市役所に来庁し、申請を行わなければならない、大変な負担になっている。一日も早く現物給付方式による助成を実施していただきたいと思うが、市長の見解を伺う。

A 市長 重度心身障がい者医療費助成制度は、昭和48年4月から県の補助制度に基づき県内で統一した制度として開始され、受給対象の方が医療機関で支払った保険診療の一部負担金を市に申請すると、後日、指定口座に振り込む償還払い方式で実施している。負担軽減のため現物給付方式に変更すると、県負担が2分の1から4分の1に削減され、市負担が2分の1から4分の3に増額される制度となっている。障がいのある方に寄り添う福祉施策の推進は大変重要であると考えている。今後は財政負担の影響を慎重に見極めながら、現物給付方式の導入に向けて前向きに検討する。



下野市ホームページ
保健福祉ガイドブック～障がい福祉編～



個人質問

にしもと ゆりこ
西本由利子 議員が問う

窓口充実

福祉教育窓口について 今後の計画を伺う

市長

各課の連携に努め、誰一人取り残さない社会の実現を目指す

Q まるごと福祉相談窓口の現在までの成果を伺う。**A** 市長 窓口開設から現在までの相談件数は、延べ400件以上で昨年度上半期の相談件数と比較し、約3倍に増加した。**Q** ファミリー・サポート・センターの活動件数が5,000件を超えたが今後の運営方針を伺う。**A** 市長 新たな拠点と運営形態の在り方を、下野市社会福祉協議会と協議している。**Q** 4月に開設されたこども家庭センター「ふわり」の目標を伺う。**A** 市長 妊娠・出産・子育ての総合相談窓口として専門資格を持った職員・支援員が、子どもの成長の切れ目なく、どの家庭にももれなく支援を行っていく。さらに、他部署とも連携し支援体制の充実・強化を図る。**Q** 市民活動センターと生涯学習情報センターの役割は多くが重複していないか。**A** 教育次長 生涯学習情報センターの登録団体は市民活動センターへ移し、学校支援ボランティアは生涯学習文化課へ移管し、生涯学習情報センターは廃止の方向で進めたい。

4月に開設されたこども家庭センター「ふわり」



個人質問

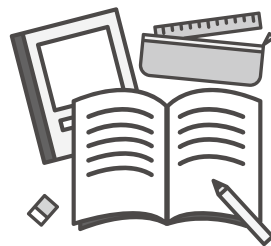
かね こ やす のり
金子康法 議員が問う

環境整備

教育現状と学力向上策 関係者の負担軽減策は

教育長

学力向上改善策を実行・働き方改革の推進・小1の壁対策を要検討

Q 子ども達への教育は学校・家庭・地域を含めて取り組むべき重要課題だが、本市教育の現状と学力向上策について伺う。**A** 教育長 全国学力・学習状況調査では平均を上回っているが、学力向上の取組の一つとして、学力向上改善プランに基づき授業改善等に取り組んでいる。また、学校運営協議会を設置して学校・家庭・地域の連携協働に取り組んでいる。**Q** 教員の業務負担の軽減・処遇改善について、特に残業対策等を含む働き方改革推進が求められ、全国的には多くの改革事例が紹介されているが、本市の施策推進の状況はどうか。**A** 教育長 4月の教職員の超過勤務時間は平均68時間。コロナ禍前比で4時間減り、業務改善委員会の設置等による取組の成果である。さらに教職員数の改善（定数増）を要望していく。**Q** 子育て支援の一環として、本市でも保護者にとつての「小1の壁」(注)対策を検討すべきでは。**A** 教育長 現状では、早朝・放課後の学校開放は安全確保上の問題から難しいが、今後、対応策を検討する必要がある。

(注)保護者にとつての『小1の壁』とは・・・

共働き世帯が国内で7割を超えている現在、子どもが保育園から小学校に上がることで、出勤時刻より登校時刻が遅くなる等、保護者の仕事と子育ての両立が、より難しくなる状況を示したもの。子育て支援の一環として、その対策が望まれる。他市では、民間スタッフの協力を得て、学校開門を7時に早める等で対策されている例もある。



個人質問



むら お みつ こ
村尾光子 議員が問う

子供計画

本市こども計画策定に どう取り組むのか

市長

現在策定中の第3期子ども・子育て支援事業計画と一体的に策定

- Q** 本市では自治基本条例に「子どもの参画」について規定している。子ども・若者の意見の施策への反映策については、各部署に共通したマニュアルが必要ではないか。
- A** 市長 令和5年12月、こども基本法を総合的に推進するためのこども大綱が閣議決定され、これまでの大人中心社会から『こどもまんなか社会』へと変えていくため、子ども・若者の意見を聞き、政策に反映させる取組を社会全体で推進していく。本年3月、これらを実践する地方自治体等職員向けのガイドラインが作成された。まずは市独自のマニュアル作成ではなく、このガイドラインを庁内に周知し活用していく。
- Q** 本年5月に通知された自治体版こども大綱へはどう対応するのか。
- A** 市長 こども基本法では、市町村は国のこども大綱を勘案して市町村こども計画を定めることが努力義務とされた。現在策定中の第3期子ども・子育て支援事業計画はこども計画を包含したものとして、子ども・子育て会議で調査・検討し、年度内の策定を目指す。



官民連携事業「シモツケ大学」に参加する若者たち

普通救命講習会を受講しました

日 付：令和6年7月8日（月曜日）
場 所：議会特別会議室
講 師：石橋消防組合（救急救命士）
内 容：心肺蘇生法など

石橋消防組合の隊員の方をお招きし、『普通救命講習会』を開催しました。

参加した議員は、いざというときに迅速な救命措置が講じられるよう、心肺蘇生や AED（自動体外式除細動器）の操作方法を習得するため、熱心に受講しました。



一
般
質
問

市内の小学3年生の皆さんが議場に見学に来てくれました



普段は座れない議員席や傍聴席に座ってみたよ♪ 屋上の展望テラスは眺めがとてもよかったよ♪



議場は、『かんぴょう』（下野市生産量日本一）のかたちをイメージして作られているんだって！

ぎかいだより クイズ

1

今定例会で一般質問した人数は〇〇人。

2

本会議に提案された議案などを、より専門的審査するための常任委員会は〇つ設置されている。

3

下野市の議場は、〇〇〇〇〇をイメージして作られている。

◀前号のクイズの答え▶ ①：ウツツツケ ②：7 ③：インター

編集後記

前任期の議会だより編集委員会に続き、改選後の議会人事でも連続で議会だより編集委員会所属となり、また委員長ということで身が引き締まる想いです。

今期は議会だよりにありがちな「硬い感じ」と「難しいことば」をできるだけなくしていこうと様々なチャレンジをしていきます。

新鮮な息吹溢れる新メンバーですので、委員同士、自由闊達な意見交換を重ねながら、読みやすく議会に関心を寄せていただけるような編集に努めます。好評の「ぎかいだよりクイズ」も少しだけ難易度をあげたいです。もちろん「硬い感じ」と「難しいことば」は使いませんので、ご応募をよろしくお願いします。

(伊藤陽一)

下野市社会福祉協議会ボランティアセンターにおいて、議会だよりの音訳CDを貸し出しています。電話 0285 (43) 1236

歴史館グッズ



＜応募方法＞

①～③までのクイズの答え・住所・氏名・年齢・議会だよりを読んだ感想をお書きのうえ、ハガキ・FAX・メールのいずれかの方法でご応募ください。

正解者の中から、抽選で5名の方に「歴史館グッズ」をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)

＜ハガキのあて先＞

〒329-0492 下野市笹原26番地
下野市議会事務局

「議会だよりクイズコーナー」宛

＜FAX＞ 0285 (32) 8614

＜Eメール＞ gikai@city.shimotsuke.lg.jp

＜しめきり＞

9月17日(火) (当日消印有効)

議会だよりの中に答えがあるので探してみてくださいね

発行編集 栃木県下野市議会 議会だより編集委員会

委員長 伊藤 陽一
副委員長 鈴木 一司
委員 坂倉 司
西本由利子
松山 裕
金子 康法

※次号 (No.74) は 11 月 15 日に発行します

下野市議会だより1部あたりの印刷製本費は約22.7円です。



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。

